

てえく寄席「手話落語・奇術公演」

メディアテークでは耳の不自由なかたにも落語を楽しんでいただけるように、「手話落語・奇術公演」を開催します。

開館記念イベントの高座でも好評だった、林家とんでん平さんの手話落語と松旭斎静花(しょうきょくさい しずか)さんの奇術をお楽しみいただけます。なお、奇術と落語には手話通訳がつきます。

日時：2月17日 日曜日 14時から15時30分
場所：せんだいメディアテーク7階スタジオシアター
料金：一律500円
(当日券のみ。会場でお求めください。)

赤外線音声補助装置貸出しサービス(20台)があります。
また、会場には、お持ちの補聴器をとおして音声聞きやすくなる磁気ループも設置してあります。

託児つきです。ご希望のかたはお問合せください。

ご希望のかたには、「バリアフリー通信」を郵送いたします。ご希望のかたはFAXでご連絡ください。

発行元

せんだいメディアテーク

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

TEL : 022-713-4484 Fax : 022-713-4482

www.smt.city.sendai.jp

office@smt.city.sendai.jp

せんだいメディアテーク

スタジオアプリケーションツアー

プログラムD「画面の文字を音できく」

スタジオアプリケーションツアーは、メディアテークのスタジオの仕組みと機器の操作方法について学ぶプログラムです。

3月におこなわれるプログラムDでは音声読み上げソフト(2000Reader、ホームページリーダー)とは、どのようなものなのか、を簡単に紹介します。

日時：3月23日 土曜日 14時から16時30分
場所：せんだいメディアテーク7階スタジオ
定員：10名
料金：無料です。

申込方法：2月23日から3月13日までの期間で、メールか往復葉書、電話かFAXでイベント名、希望日、名前、住所、電話番号、年齢を書いてお申してください。応募多数の場合は抽選となります。

メディアテークが開館して1年になりました

「せんだいメディアテーク」はみなさんにとってどんなところですか？

初めは「定禅寺（じょうぜんじ）通になんかヘンな建物ができたよ」だったかもしれません。「一度いつてみようか」から「 をしにいこう」という場所になったのでしょうか？

私たち職員にとっても手さぐりの1年でしたが、魅力あるものを提供できるよう決意を新たにしております。さて、今回のバリアフリー通信はバリアフリー企画として開催した映画上映の特集をお届けします。

音声解説付き映画 「ザ・カップ」 上映報告

普段洋画を見る機会の少ない目の不自由なかたにも楽しんでいただけるように、12月16日(日)に音声解説付き映画「ザ・カップ～夢のアンテナ～」を上映しました。音声解説付き映画の上映は、前年の2月に引き続き二度目の上映でした。

こうした映画についてさまざまなかたに知っていただくため、前回の上映と同様、解説の音声は会場全体に流して、来場されたすべてのかたに聞いていただきました。音声解説付きの映画は初めて、というかたがほとんどで、目の不自由なかたからは、「わかりやすかった」、という感想を多くいただきましたが、「もう少し詳細に」との意見などもあり、音声解説の方法についていろいろと考えさせられるものがありました。晴眼者のかたからは「初めてこういう映画があることを知った」、「意外に違和感がなく、楽しめた」等の感想を多くいただきました。

今回ご来場いただけなかったかたで「ザ・カップ」に興味のあるかたは、音声解説付きでDVDが出ますので、そちらをご利用下さい。レンタルビデオ店でも既に貸し出しをしています。レンタルビデオ店の中には、DVDプレーヤのレンタルをいっているところもありますので、ご自宅にプレーヤがない場合でもレンタルで楽しめる場合があります。

「ザ・カップ」以外にも、スティーブン・キング原作の「グリーンマイル」や、目の不自由な少年とその父親の葛藤を描いた「太陽はぼくの瞳」などの洋画2本が音声解説付きDVDで出ています。

メディアテークでは、今後もこうした映画を上映していく予定です。音声解説を付けて制作している映画は現在ほとんどありませんが、ボランティアの協力を得て、一般の映画に音声解説を付けて上映していくことも検討しています。さまざまなかたが共に楽しめる、映画上映をしていければと思います。

バリアフリー担当 瀬川こずえ

～言葉の壁を越えて～ 日本語字幕入り映画 「ホタル」上映報告

普段邦画を観る機会の少ない耳の不自由なかたにも楽しんでいただけるように、10月14日(日)に日本語字幕入り映画「ホタル」を上映しました。

高倉健主演のこの作品は、余命いくばくもない妻・山岡知子と鹿児島で暮らす特攻隊の生き残り・秀治が昭和という激動の時代が終わり、いつしか男として、夫として、二十世紀を生き抜いた人として、あるひとつの決意が芽生えていくストーリーです。

邦画の字幕入り映画上映は昨年3月におこなわれた自作字幕入り映画「しあわせ家族計画」に続き2回目となりました。今回は要約筆記通訳「せんだい」の方々にご協力いただき、字幕の入っていないフィルムに後から字幕を挿入する方法で上映しましたが、今回は最初からフィルムに字幕が入っているものを上映しました。さまざまな音・・・例えばドアの開く音では、字幕の前に扉のイラストが入っていたり、その他にもいろいろな音の字幕がイラストと一緒にあって、目で見てわかりやすいように工夫されていました。

終了後のアンケートでは、「字幕が付いているお陰で数年ぶりに邦画を観られた」という感想を書かれた耳の不自由なかたや、「聞き逃したセリフを字幕で確認できて良い」「最初は気になったが、そのうち全然気にならなくなった」と言った健聴のかたなど、概ねご好評いただきました。そのいっぽうで、字幕と画面のタイミングが合わずに気になったり、早口で話す場面になると字幕を読むのが追いつかなくて困ったかたもいたようです。

最近はDVDやビデオでも日本語字幕入りの作品が増えてきていますが、大画面で観る迫力のご家庭のテレビでは味わえないものです。これからも日本語字幕入りの上映をしていくことで、耳の不自由なかたに映画を楽しんでいただける機会を増やすことはもちろん、字幕を必要とされないかたにも日本語字幕の重要性を知っていただけるような場になればと思います。

バリアフリー担当 新妻利恵